

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1
四国医療専門学校 作業療法学会内
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

平成からその次へ

会長 松本 嘉次郎

平成の元号の期間も残り少なくなりました。30年間の「平成」という時代は、自国での戦争こそなかった平和な時代ではありましたが、様々な出来事があった時代だったように思います。阪神淡路大震災や東日本大震災等多くの震災があり、つい最近では、西日本豪雨災害が記憶に新しいと思います。良くも悪くも様々なことがあり、今現在に至っています。

医療や福祉でも、平成12年（2000年）には介護保険制度がスタートし、診療報酬では、「作業療法Ⅰ」、「作業療法Ⅱ」の算定から「疾患別リハビリテーション」の算定に変更もありました。

近年では、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けて国や地方、様々な職能団体も活動しています。もちろん、我々作業療法士も同様です。1月に行われた第20回作業療法学会の特別講演においても（一社）作業療法士協会前副会長の土井勝幸氏による「地域包括ケアシステムに貢献するこれからの作業療法」というテーマでお話をいただきました。

新しい元号になり、心機一転というわけではありませんが、自分の将来に対するビジョン、仕事でのビジョン、作業療法士としてのビジョンを新たに見直しても良いのではないかと考えています。その為にも作業療法士（会）として団体や個人に求められていることに丁寧に対応し、対応できるための自己研鑽を磨いていくことが大事だと考えています。新しい時代でも、「作業療法士は良い仕事ですね。」と認められる個人、団体になりたいと願っています。



先輩の声

No.34 「心」 三豊市立西香川病院 重度認知症デイケア

成行 朝美

(19年目)

日頃より、目の前の患者さんにアプローチに励んでいる皆さんへ。改めてOTとは職域が広く、可能性は無限ではないかと感じています。当院でも回復期、精神科療養、訪問リハ、外来リハ、重度認知症デイケアと多岐にわたっております。現場が違っていても、OT同士が共に協力し、それぞれの分野の知識を共に学び合い、連携しています。

様々な疾患に対するアプローチを行なうは勿論ですが、人同士の関わりという原点を常に重要視していく事が大切だと思っています。患者さんの大切な人生の一部に携わり今後にも大きな影響を与えると意識を忘れず、ひとりひとり個人をしっかり知ることが大切です。全てのはじまりは「心」。心が動けば体も態度も変わります。出会いも変わります。出会う人によって、人生も大きく変わります。患者さんにとって私達セラピストの出会いがよりよいものとなるように。そして私達を取り巻く様々な人同士で支えあいながら頑張りましょう。



No.35 しおかぜ病院

佐藤 祥

(12年目)



作業療法士として働き始めて十数年が経ちますが、「作業療法って何だろう」と思い悩む度に私は学生時代の臨床実習で出会ったAさんのことを思い出します。働き盛りに脳出血を発症し、右片麻痺や高次脳機能障害を抱えたAさんは「働きたい」「ボランティアでもいいから人の役に立ちたい」という思いを持っていました。実習という限られた時間の中で十分な支援を行う事が出来ず、そこで私は最終レポートに「作業療法の学生にリハビリの体験や障害についての講演を行う」というプランを追加し、実習を終えました。

その後担任の教員を通じ、Aさんが「いつ講演ができるか楽しみに待っている」という話を聞き、非常に驚きました。私は実習を終えたことでAさんとの関わりも終わったと思っていたのです。私が実習を終えた後も「講演」という目標に向かってAさんと実習指導者が協働していたことを知り、うれしさと自責の念の中、国家試験を終えた春に私の後輩である作業療法の学生を対象とした講演を実現する事が出来ました。学生を前に堂々と語るAさんの姿は今でも目に焼き付いています。

作業療法士とクライアントの直接的な関係は終わっても、クライアントの人生は続きます。私の人生もクライアントとの出会いによって成り立っています。「バス釣り」をしたいというあるクライアントの支援がきっかけで覚えた「魚釣り」が今では私の趣味であり、ブラックバスだけでなく海釣り、船釣りを経験していき、ついには職場でフィッシング部を立ち上げるまで拡がりました。「作業療法とは何か」を教えてくれるのは、今日の前にいるクライアントかもしれません。



第20回香川県作業療法学会

事務局 西田 典真

開催報告

平成31年1月20日(日)に高松国分寺ホールにて第20回香川県作業療法学会が開催されました。学会テーマは「作業療法の歩む道～幸せになるために～」と題し、一般演題14演題、特別講演では医療法人社団東北福祉会介護老人保健施設せんだんの丘の施設長で作業療法士の土井勝幸氏による「地域包括ケアシステムに貢献するこれからの作業療法」をご講演頂きました。



土井先生からは実際に施設を運営されているお立場や日本作業療法士協会副会長のご経験から、作業療法を取り巻く環境と地域包括ケアシステム、国民にわかりやすい作業療法の必要性、生活がみれる作業療法士の重要性をご教示頂きました。学会参加者は約100名、会員・他職種・一般・学生と幅広く参加して頂き、無事盛会に終了しました。特別講師の土井先生を初め、座長、演者の皆様、参加者の皆様、運営委員の皆様、ご協力ありがとうございました。改めまして感謝申し上げたいと思います。来年度の第21回香川県作業療法学会も県士会員の皆様にとって有意義な時間となるように企画してまいりますので、皆様の参加を宜しくお願い致します。



連載企画 6 第二弾

学校で働く作業療法士

第2話

穴吹リハビリテーションカレッジ 谷淵 加奈子

教員としての魅力は学生の成長を間近に感じる事ができることです。

入学した当初は幼さが残り心配だった学生も、卒業する頃には頼もしく成長しています。

特に成長を感じるのは実習後で、実習前の不安な表情から一転して誰もがいい表情をしています。そんな姿をたくさん見る事ができるのが、教員やっていていいなあと感じる瞬間です。

実習後、「先生、〇〇って△△ですね！初めて知りました!!」とやや興奮気味に教えてくれる学生に、「授業でも教えたんだけどな…」と一抹の寂しさを感じつつも、本当に実感として学ぶことができたのだと嬉しくも思います。

学校では「大切だ」と教えていても、学生は何となくのイメージとしてしか持つことができません。だからこそ、実習の学びは大きいと思いますし、学生のためにたくさんの情熱を注いでくださる指導者の先生方に感謝の気持ちです。

教員の仕事は「種まき」であると、昔悩んでいた時に先輩から教わりました。種たちがOTとして芽を出すためにいい土壌を作れているだろうか？自問自答の毎日です。



開催報告

学術研修会

学術部特別研修会担当 西山脳神経外科病院 鶴窪 良樹

平成30年6月24日(日)、高松テルサにおいて、平成30年度第1回学術研修会を開催しました。今回は畿央大学教授、森岡周先生(理学療法士)お招きし「半側空間無視の神経メカニズムに応じた臨床介入」について講義して頂きました。当日は、例年の人数をはるかに超える約100名の参加がありました。半側空間無視をニューロサイエンスの視点から紐解き、神経ネットワークの問題から病態を解釈していきました。空間的注意ネットワークを背側(能動的注意)、腹側(受動的注意)に分けて考え、症状を分類して捉えること、部位別にどの注意機能を活性化させていけばいいか等、治療介入に繋がる要素がたくさん述べられていました。今回の研修会を通し、根拠に根差して目の前の患者様に介入していく重要さが再確認できました。今回お忙しい中ご尽力いただきました講師の森岡先生、及び学術部担当委員の皆様、ご参加頂いた皆様ありがとうございました。



かがわ総合リハビリテーションセンター 藤井麻莉

平成30年12月9日(日)、穴吹リハビリテーションカレッジにおいて、平成30年度第2回学術研修会を開催しました。今回は岡山リハビリテーション病院より酒井英顕先生(作業療法士)をお招きし、「自動車運転再開に向けた評価と支援」というテーマで講義して頂きました。講義では、道路交通法の変遷や現状といった基本的なことから、作業療法士として運転再開に向けた具体的な評価や支援の方法、医療機関と教習所との連携の取り方など、事例を通してわかりやすく紹介して頂き、大変充実したものとなりました。お忙しい中、ご尽力いただきました酒井先生、ご参加頂いた皆様、大変ありがとうございました。これからも香川県作業療法士会の会員の皆様に臨床で役立つ研修会を開催出来ますよう、部員一同頑張ってお参ります。今後とも宜しくお願い致します。



平成30年度 県民公開講座を開催して

公共事業部部長 山下 正浩

公共事業部では、毎年県民の方を対象に公開講座を開催しています。今年は、11月11日サンメッセ香川で開催しました。講師をいわき病院認知症デイケア「きらく」の片山久美子先生、と広瀬病院の田村篤史先生に講師依頼をして、「これから役立つ認知症の知識」といったテーマで講座を行いました。講師の先生方にはそれぞれ、「認知症の概要と介護に関する講義」と「認知症の予防体験」をしていただきました。当日、42名が講座に参加していただき、半数以上が一般の方の参加となりました。

今回の講座では、認知症の基礎的な知識や介護の方法などの話が聞かれましたが、参加した方の反応としては、「分かりやすい内容で今まで知らなかった事が知れて良かった。」といった内容も多く聞かれていました。また、認知症の予防体験に関しても、実際にどのような方法があるのか、講義だけではなく、体験していただくことも出来ました。体験中は会場から笑い声も聞こえるなど好評な様子が見られました。

講座後に行ったアンケートからは今後、取り上げてもらいたいテーマとして、高齢者に対する転倒予防や介護予防、認知症の人への生活援助方法などの意見が見られています。今までの、県民公開講座でのアンケート結果でも高齢者に対する介護予防、認知症予防のニーズが多くみられていました。

それらの背景には、27%を超える日本の高齢化率や認知症高齢者数の増加など現在の日本の社会情勢が影響しているものと思われます。加えて、香川県民の皆様が、作業療法士に対して期待している部分でもあると考えられます。

もちろん、作業療法士は認知症の方や高齢者の方への対応が全てではないですが、日々の業務で対応する事が多いのも事実であります。今後も公共事業部では、県民の方に対して公開講座を開催して、作業療法士がどのような場面で活躍しているのかを伝えていきます。そして作業療法士の有用性を伝えていき県民の方に利用していただけるようになればと考えています。

今後、香川県作業療法士会に所属している方に協力を得ていかなければならない場合も多くあると思います。今後とも公共事業部の活動にご協力いただければ幸いです。また、今回の公開講座に参加いただいた講師・運営スタッフの方々ご協力感謝いたします。お疲れ様でした。



2019年度 香川県作業療法士会主催研修会計画

※次年度の計画・予定です。内容や日程に変更が生じる場合があります。変更など随時、更新しています。

学術部研修

講座名	日程	会場
脳卒中の上肢麻痺に対するアプローチ（仮）	2019年6月23日（日）	ユープラザうたづ

現職者共通研修（教育部研修）

講座名	日程	会場
作業療法生涯教育概論	2019年5月19日（日）	ユープラザうたづ
作業療法における協業・後輩育成	2019年6月16日（日）	宇多津病院
日本と世界の作業療法の動向		
実践のための作業療法研究	2019年7月21日（日）	宇多津病院

現職者選択研修（教育部研修）

講座名	日程	会場
老年期障害	2019年8月18日（日）	サンポート高松
MTDLP基礎研修	2019年10月20日（日）	未定

日本作業療法士協会推進研修

講座名	日程	会場
認知症アップデート研修	2019年5月19日（日）	ユープラザうたづ

No.18

病院紹介

こころの医療センター五色台

40年間続いた当院の名称が平成29年11月に「医療法人五色台病院」から「こころの医療センター五色台」に変更になりました。翌年2月には精神科救急病棟がスタートし、地域の精神科医療の中核を担っていけるよう「全ての患者様に笑顔と希望を届ける」というミッションを掲げ、日々の業務に臨んでいます。

当院の作業療法ですが、治療の中心が療養病棟の時代は、診療報酬に縛られた状態で院内寛解が目的となるような作業療法を展開していました。平成19年10月に精神科急性期治療病棟の運営が開始されてから作業療法に期待される役割も増え、病棟専従OTRが誕生した事を転機として、診療報酬の縛りから脱却した治療構造の形成が可能となりました。

具体的には機能分化を図る事で、凝集性を高め、集団力動を利用した小集団プログラムや集団に抵抗がある方や身体合併症の方にも対応した個別作業療法を行えるようになりました。

機能分化させたシステムの成熟と共に、作業療法の幅は拡がりをみせ、大型動物を利用した動物介在療法としてHorse Assisted Therapyを筆頭に、一般企業や団体とも提携した作業療法も展開しています。昨年は世界有数の品質のオリーブオイルを生産している企業様と退院促進・就労支援プログラムを開始しました。一定の評価を頂くことが出来、今後はよりダイナミックに展開していく事が期待されます。今年には他にも①特殊疾患病棟における緩和ケアへの本格的な参画②香川県で開催予定の第19回障害者スポーツ大会の中国・四国ブロック予選において精神障害者の部バレーボール競技での香川県代表としての参加③藍染職人と提携した作業療法の展開が予定されています。

上記の事から、院内における作業療法のアイデンティティーは高まりをみせ、全国的な精神科領域で勤務している作業療法士の人数は横ばい状態が続いていますが、ここ5年間で当院の作業療法士の在籍人数は2倍に増え、今春にはサテライトの施設を含めると、25名（PT1名含む）となる予定です。当院は280床の精神科単科病院であり、在籍率は全国でも高い水準にあります。

精神科作業療法に変革が求められる昨今、来るべき時代に向けて精神科作業療法の新たな形を模索していきたいと思えます。



新入会員紹介

今年度も多くの方が県士会に入会されました。
これからよろしくお祈いします。

(順不同・敬称略)

①生年月日・血液型 ②出身地 ③出身校 ④勤務先 ⑤趣味・特技 ⑥職歴 ⑦自己アピール ⑧抱負



伊藤 爽

- ①平成4年2月7日・A型 ②高知県 ③高知リハビリテーション学院 ④三豊総合病院
⑤散歩 ⑦高知県出身ですが、お酒はあまり飲めません(笑)
⑧まだまだ慣れないことありますが、地道にコツコツと頑張っていきたいと思ひます！
患者様に信頼されるような作業療法士を目指します！



高井 健輔

- ①平成7年6月30日・B型 ②香川県 ③四国医療専門学校
④三豊総合病院
⑤車が好きです。
⑧もうすぐ2年目を迎えますが、初心忘れず頑張ります。



金倉 由美

- ①8月27日・A型 ②香川県高松市 ③穴吹リハビリテーションカレッジ
④まるがめ医療センター ⑤うどん屋めぐり、絵画鑑賞、小物を作ること、カメラ、旅行、城
⑥印刷会社で品質保証兼研究開発 ⑦負けず嫌いながんこちゃんです。
⑧健康第一！元気な笑顔でがんばります。



宇佐川 雄太

- ①平成8年2月21日・AB型 ②香川県 ③四国医療専門学校 ④まるがめ医療センター
⑤ドラム、旅行、カフェ巡り
⑦女子力が高いと思ひます。
⑧患者さんと本気で向き合うOTに。



三野 与喜

- ①平成7年3月18日・A型 ②香川県 ③四国医療専門学校 ④西紋病院
⑤小説の執筆、ギター・ドラム演奏、キャンプ活動
⑦アドリブ力があります。
⑧専門性を押しつけず、クライアントの気持ちに寄り沿えるようになります。



篠原 雅樹

- ①平成7年3月27日・B型 ②香川県 ③四国医療専門学校 ④橋本病院
⑤サッカー、ゴルフ、スノーボード ⑦何事もあきらめずに一生懸命頑張ります。
⑧患者様、ご家族様の期待に応えられるように頑張ります。自分が成長するために、
日々学ぶことを忘れず向上心を高く持つ。



渡邊 理央

- ①平成7年10月27日 ②高知県高知市 ③高知リハビリテーション学院
- ④社会法人社団和風会 橋本病院 ⑤映画鑑賞、運動すること、旅行に行くこと
- ⑦趣味が多くあり、好奇心旺盛です。
- ⑧毎日健康で楽しく過ごす。視野を広げ余裕を持って行動する。



大西 星也

- ①平成7年7月28日・A型 ②香川県 ③四国医療専門学校 ④橋本病院
- ⑤ゴルフ、バスケットボール
- ⑦やる気はすごいです。
- ⑧常に疑問をもちながら臨床に臨み、日々自己研鑽に励みたいと思います。



法兼 弘季

- ①平成7年11月21日・B型 ②善通寺市 ③四国医療専門学校 ④JA香川厚生連 滝宮総合病院
- ⑤舞台観劇（自分でもしてます!）、食べ歩き、旅行、柔道（有段者）
- ⑦食事・遊びの誘いは、ほぼ断わりません！例え次の日に仕事があるとしても…（笑）
- ⑧離床を適切に促すことができるOTに！また、患者の不安を1秒でも早く、軽くすることができるOTになります!!



島本 知佳

- ④永生病院
- ⑦毎日楽しく仕事しています。
- ⑧患者様やご家族様としっかりコミュニケーションをとって不安にならない様にリハビリを行なっています。



宮武 歩実

- ①平成8年7月26日・B型 ②香川県 ③穴吹リハビリテーションカレッジ ④永生病院
- ⑤なぎなた ⑦いつも笑顔で心がけています。
- ⑧コミュニケーションを大切にし、患者様の気持ちに寄りそったりリハビリが出来るように頑張ります。



田村 綾香

- ①平成7年9月26日・A型 ②高知県 ③高知リハビリテーション学院
- ④まるがめ医療センター ⑤マラソン、テニス
- ⑦何事にも真面目に取り組みます。
- ⑧負けず嫌いなので、何事にも一生懸命頑張ります。

高橋 さくら

- ①平成5年4月11日・A型 ②愛媛県 ③北宇和高校
- ④松井病院 ⑤旅行
- ⑦結婚して香川に来ました。
- ⑧今年1年お弁当作りがんばります。

谷本 光

- ①平成5年10月24日・A型 ②香川県 ③四国医療専門学校
- ④松井病院 ⑤将棋
- ⑦1年で20kg増えました。
- ⑧ストイックに。

New!

リレーエッセイ6

安倍 まなみ

(医療法人社団研宣会 広瀬病院)

吉田 俊二

(キナシ大林病院)

糸川 洋介

(森川整形外科病院)

私が森川整形外科で働き始め6年になります。つい先日まで専門学校の講堂でどんちゃん騒ぎをしていたように思い、時間の流れるあまりの速さに恐怖を感じる今日この頃です。

森川整形外科は歴史のある病院で、昔から地域住民の健康の維持・改善に貢献してきました。私の主な業務は手外科の患者様に対する外来リハ・スプリント作成などです。手外科のリハビリテーションには機能解剖の知識が多く求められます。明確にそこに問題のある組織があり、それらの位置や働き・相互作用を考慮しなければなりません。もともと解剖・運動学が好きだった私にとってハンドセラピーを勉強する事はまったく苦ではありませんでした。ただ、6年間仕事をしていて思う事は、教科書的な手外科の知識よりも目に見えない人の心や感情を捉える技術の方が難しいということです。これらは教科書には載っておらず正解がありません。毎日うまくいかない事ばかりで悪戦苦闘していますが、患者様にお礼の言葉を頂くたびに、この仕事をしていて本当に良かったと実感します。少しでも成長できるように前を向いて歩んでいきたいです。

事務局連絡

入 会

清水 彩名 (自宅)

戸嶋 真佑 (アーチ訪問看護ステーション)

内海 紗彩 (高松協同病院) ム ウちのみ)

退 会

岡 千春 (しおかぜ病院)

藤枝 昌代 (三豊総合病院)

重松 菜月 (いわき病院)

異 動

池田 健人 (自宅) → おさか脳神経外科

■ (一社)香川県作業療法士会ニュース No.76 ■

編集長：木村勇介 編集委員：高橋優里・水口未紅・安藤瑞基・村上太気・善相原健史・瀬知杏奈
大島祐輝・細谷かぐや・金倉由美・田村綾香・宇佐川雄太